

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市さわらびの湯	
施設所在地		飯能市大字下名栗685番地	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		都市と山村の交流と共に市民福祉の増進を図る	
指定管理者	団体名	名栗さわらびの湯共同事業体	
	代表者	代表団体Fun Space株式会社 代表取締役 清水 直木	
	所在地	飯能市大字中藤下郷623番地3	
担当部課	部	環境経済部	課 観光課
	TEL	042-973-2111	内線 636
	E-mail	kanko@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	S	管理責任者の配置など責任体制が明確化されています。また個人の担当する業務のみに限らず、様々な業務に対応できるよう従業員の教育をされています。日常から担当課と連絡を密にし、臨機の対応が取れる体制であり、災害や緊急事態対策については、警察、消防、保健所等への通報体制が確立され利用者の安全が確保されています。施設の老朽化が進む中、保守点検の実施により、機械等のトラブルは最小限に留められています。SDGsの観点からペレットボイラーを活用し省エネに取り組んでいます。
(2)利用者サービスに関する業務	S	様々なイベントを実施することで利用者を楽しませることができています。また、体調不良者の対応など緊急を要する対応も適切にできています。顧客満足度調査分析レポートによると総平均点が前回より1.5点上昇しており、昨年度以上に良好な利用者サービスが提供できています。
(3)収支状況	A	収入は昨年度をわずかに上回る結果を出していますが、修繕による臨時休館、人件費の上昇等もあり、収支差額は昨年度を下回る結果となりました。しかし支出については予算額よりも抑えられており、努力が認められます。来年度も課題は多々ありますがその中でも収益の増加を期待しています。
総 合 評 価	S	清掃の徹底や定期的な点検を実施することで施設の長寿命化ができています。また、施設の維持管理に対するコストを削減するため軽微な修繕については自社で積極的に行っています。名栗地域の施設、関係者と連携し良好な運営ができています。

3 今後における業務改善の方向性

令和7年度の利用者数は前年比98.6%であり減少しています。利用者減少の背景には熊問題等があり、さわらびの湯だけではなく名栗地域全体で観光客が減少している状況です。困難な問題ではありませんが、安全対策を講じたうえで近隣施設や地域と連携した事業による賑わいを生み、利用者の増加につながることを期待します。また、今後も物価高騰や人件費のベースアップにより支出金額の上昇が予想されます。その中でも施設の修繕は必須であり、修繕すべき箇所が多くあります。指定管理者と担当課で密に連携を取り、計画的に修繕する必要があります。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		農林産物加工直売所	
施設所在地		飯能市大字下名栗607-1	
指定期間		令和 7 年度 ～ 令和 11 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		農林産物の加工及び販売の場を提供するとともに、観光的視点を取り入れた、地域の自然とふれあい、人々が交流し、及び北欧の雰囲気を感じられる空間を提供することにより、農林業の振興と地域の活性化を図る	
指定管理者	団体名	Fun Space株式会社	
	代表者	代表取締役社長 鈴木 茂	
	所在地	東京都新宿区西新宿三丁目2番26号	
担当部課	部	環境経済部	課 農業振興課
	TEL	042-973-2111	内線 601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	前指定管理者からの移管に伴う業務と並行する中で施設及び設備等の保守点検、衛生管理等についておおむね評価項目において良好であった。今後は組織体制の分業化、社員教育に努めていただき、さらなる業務体制の強化を図ること。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	施設内の衛生管理や設備、備品の保全管理の徹底により、利用者の安心安全の確保に努めた。また、利用者からの意見や要望を反映し、カフェメニューや加工品の開発に取り組むなど利用者サービスの向上を図った。今後はより地域連携に関する取り組みの強化を図ること。
(3) 収支状況	B	経費節減を徹底することで支出を抑えられた。一方で指定管理者の変更に伴う客層の取り込みが芳しくない面もあり、他の収入源の確保もままならず収入減となった。今後は新規顧客層の取り込みや他の収入源確保など収支状況の改善に取り組むこと。
総合評価	B	指定管理の移管に伴う事務と並行する中で施設環境・サービス提供のクオリティを維持することに努めている。また市民向けのサービスを拡充することで地域貢献に努め、全体的な来館者数の増加に繋がったことは評価するが、今後は収支状況の改善に努めること。

3 今後における業務改善の方向性

- ・安心安全な管理運営に努めること。
- ・新たな顧客層・財源の確保に努め、収支状況の改善を図ること。
- ・地域住民に愛される施設となるよう、地域を巻き込んだ事業展開を積極的に図ること。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		ふれあい農園施設	
施設所在地		飯能市大字井上54番地2	
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		本市の農業の振興を図るとともに、市民に憩いとふれあいの場を提供することにより市民の福祉の増進に寄与することを目的とする。	
指定管理者	団体名	株式会社平栗園	
	代表者	吉田 久	
	所在地	飯能市大字井上54番地2	
担当部課	部	環境経済部	課 農業振興課
	TEL	042-973-2111	内線 601
	E-mail	noshin@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	整理整頓や清掃、植栽管理をきめ細かく行うなど、施設管理については、適切な対応がされている。人手不足への対策については、従業員の若返り・作業工程のマニュアル化・業務プロセスの見直しなど、効率的な運営が行われている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	季節の素材を活かしたメニューの提供など新商品の開発等に力を注ぐとともに、SNSやホームページ等を利用したPR活動を積極的に行うことで、利用者サービス向上を図った。一方で猛暑・獣害の影響により計画書で示した利用者数を達成できず、他の方法で利用者数増加を図る体制づくりに至らなかった面もあるため、今後は対策を講じること。
(3) 収支状況	A	物価高騰対策については原価見直し等により経費削減が継続されているが、猛暑・獣害の影響によりBBQの利用料及び自主事業収入が共に減収した。今後も同様の理由による減収が考えられるので対策及び他の収入源の確保に努めること。
総 合 評 価	A	施設周辺に隣接する農地一帯を栗・ブルーベリーの農園として借用し、地域農業の推進に努めている。また、地域のイベントへの参加や観光協会と連携したエコツアーを開催するとともに、高齢化等で管理が難しくなった地域の栗畑の管理を担うなど、地域密着型の施設としての役割を果たしている。

3 今後における業務改善の方向性

- ・経年劣化がみられる施設のため適切な維持管理・代替案を検討すること。
- ・猛暑などによる利用者数減少を想定して、他の収入源を確保すること。
- ・引き続き、地域を巻き込んだ取組を実践すること。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市林業センター	
施設所在地		飯能市大字阿須343番地の1	
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		本市の林業の振興を図るための拠点施設	
指定管理者	団体名	西川広域森林組合	
	代表者	代表理事組合長 木崎 秀尚	
	所在地	飯能市大字阿須343番地の1	
担当部課	部	環境経済部	課 森林づくり課
	TEL	042-978-5061	内線 604
	E-mail	norin2@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	施設内は清掃が行き届き、整理整頓されており、管理運営は適切に実施されていました。また、施設の老朽化に伴い修繕が必要な箇所については、迅速に対処していました。
(2)利用者サービスに関する業務	A	日頃から利用者に対してスムーズに対応をしていました。本年度は、林業推進事業において、木育事業の開催内容と開催数を見直し、さらなる充実を図るとともに、刈払機取扱作業安全衛生教育等、林業・木材製造業労働災害防止協会埼玉県支部による講習を実施し、林業従事者に対する支援事業を新たに実施しました。
(3)収支状況	A	施設の管理費用削減に努めるため、職員自らが施設の修繕や植栽の手入れを行っていました。また、消耗品費の内容を見直し、管理経費を削減するとともに、環境に配慮した業務を実施した。施設が老朽化する中、優先順位を決定し、予算の範囲内で適切に管理を行っていました。
総 合 評 価	A	全体の利用者数は減少したものの、林業推進事業の充実を図った結果、参加者数は昨年度の約1.3倍となり、新たに林業従事者に対する支援事業を実施するなど、サービスの充実に尽力していた点は多く、高く評価できます。今後も、本市の林業の振興を図るための拠点施設としての機能を十分に発揮していただくことを期待します。

3 今後における業務改善の方向性

林業推進事業については、令和3年度から実施している木育事業の内容と回数の改善を行った。また、今年度からは、林業従事者向けの講習を実施するなど、内容の充実を図り、利用者数も増加したことは高く評価できます。今後も、林業の振興の拠点施設として、林業従事者に対する情報発信、知識や技能向上の機会の創出、地域住民の森林・林業に関する相談等、幅広くニーズに応えられるよう、さらなる内容の充実を期待します。

事務処理については、担当者の変更による引継ぎが不十分な箇所が見受けられました。マニュアルの整備や分かりやすい資料整理等、引継ぎを見越した体制整備に努めていただきますようお願いいたします。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター(管理)	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで (5 年間)	
施設の設置目的		老人福祉センター、身体障害者福祉センター、児童センターの各施設において、老人、障害者、児童に対して各種サービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13	
担当部課	部	健康福祉部	課 地域福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 161
	E-mail	chifuku@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	指定管理業務仕様書に沿った適切な管理が行われている。施設の日常点検や危機管理マニュアルの作成、防災避難訓練の実施など、利用者の安心につながる施設運営に努めた。
(2)利用者サービスに関する業務	A	教育センターの複合化に伴い利用できる部屋が減少したが、市民の交流の場としての機能を果たすべく、昨年度から利用者の減少はありつつも利用者が利用しやすいように調整等を行なっている。また、利用者に対し相談機能を意識しながらの対応に努め、社会福祉協議会ならではのサービス提供が実現されている。
(3)収支状況	A	光熱費をはじめとする運営コストの高騰が続く中、時間帯による照明の使用抑制等を行うなど、適正支出に努めた。また、軽微な修繕については職員で対応し、施設の維持管理費の削減が図られている。一方、時間外の増加や人件費の上昇等により、予算の補正に関する覚書を締結するに至った。
総 合 評 価	A	利用者が安心して利用できるよう、積極的な取組がなされている。 引き続き保守点検や修繕等により、施設の維持管理に取り組むとともに、利用者と良好な関係を築き、地域福祉の拠点としての機能を十分に発揮することを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

施設の竣工後35年以上が経過し、経年劣化による建物・設備の不備・不調が懸念されることから、これまで以上に日常点検に配慮し、安全に安心して利用できる施設であり続けられるよう努めること。また、社会情勢の変化により物価が高騰するなど経費の増大が見込まれることから、引き続き経費の削減に向けた創意工夫に努めること。
適切な人員配置や事務分担、経営的、人的マネジメントを行うことに努めること。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市総合福祉センター（身体障害者センター）	
施設所在地		飯能市大字双柳371-13	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		身体障害者の自立と社会経済活動への参加を促進するため。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371-13	
担当部課	部	健康福祉部	課 障害福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 170
	E-mail	syoufuku@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	職員の行動基準に基づき、人員配置、危機管理体制、個人情報保護、防災訓練、施設管理が行われている。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	残念ながら利用者は減少したが、手話の普及のため飯能市聴覚障害者の会、飯能市手話サークルが主催する「手話カフェ」に協力しており、手話奉仕員養成講座に限らず、関係団体と手話の理解や普及に努めていることは評価できる。
(3) 収支状況	A	物価高騰が続いているが、指定管理料の範囲内で適切な執行管理が行われている。
総 合 評 価	A	利用者が減少したものの、概ね計画どおり事業が実施されている。また、教育センターの移転に伴う影響も利用者（利用団体）とのきめ細やかな調整により混乱が生じなかった点も評価できる。

3 今後における業務改善の方向性

令和8年度より教育センターが移転したことによる影響が顕在化することが考えられる。既存の利用者（利用団体）に利用上の制限がされることにならないよう調整をお願いしたい。

近年利用者が減少傾向であることを踏まえ、アンケート結果を活用したり、他市の取組を参考にするなどして新たな取組（事業内容の見直し）をお願いしたい。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市総合福祉センター（飯能市老人福祉センター）		
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		高齢者に対して各種のサービスを提供し、健康で明るい生活の向上に寄与するため。		
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会		
	代表者	新井 重治		
	所在地	飯能市大字双柳371番地の13		
担当部課	部	健康福祉部	課	介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線	178
	E-mail	shien@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	定められた業務が適切に行われている。新規利用者の増加に資する事業も定期的に開催しており、今後も継続して実施していただきたい。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	個人来館者が利用できるカラオケが廃止となったが、生きがいづくり活動の推進として、新たにカラオケサークルの立ち上げや、カラオケを楽しめる場所の提供に支援したことを評価する。今後も利用者へのサービス向上に期待している。
(3) 収支状況	A	物価の高騰等に伴い、エネルギー価格等が高騰している中ではあるが、昨年度と比較して電気、ガス、水道代が削減できた。今後も事業の開催、施設の運営に影響のない範囲で経費の削減に努めていただきたい。
総 合 評 価	A	利用者へのサービスは、常に安全かつ適切に提供されており、安定した施設運営が維持されている。令和7年度においては、高齢者の健康増進やコミュニティの活性化、生きがい創出に繋がる事業を積極的に推進した。多様化するシニア層のニーズに応え、地域福祉の拠点として高齢者の健康で明るい生活の実現に大きく寄与した点は、総合的に高く評価できる。

3 今後における業務改善の方向性

現在の事業は概ね計画どおりに進捗しており、安定した運営がなされている。しかし、地域の高齢化率がさらに上昇していく今後においては、単なる現状維持にとどまらず、高齢者の多様化するニーズに即した教養向上や生きがい創出の場をいかに提供できるかが課題となる。

今後は、さらなる利用者の健康増進に向けた魅力的なコンテンツの拡充を図るとともに、効率的かつ安全な施設運営に向けた業務のブラッシュアップ（見直し）を継続していくことが求められる。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		総合福祉センター（児童センター）	
施設所在地		飯能市大字双柳371番地の13	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地13	
担当部課	部	こども支援部	課 こども政策課
	TEL	042-973-2111	内線 415
	E-mail	kodomo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	・業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心とした管理執行体制を整えている。
(2)利用者サービスに関する業務	A	・職員の資質向上を図り、利用者サービスの向上に取り組んでいる。 ・利用者への丁寧な対応により、児童や保護者が安心して施設利用できる環境を整えている。
(3)収支状況	A	・節電や職員による修繕の実施を含む工夫により、効率的な管理運営に継続して取り組んでいる。
総 合 評 価	A	・利用者の安全安心を第一に考え、施設美化にも取り組み、良好な施設環境を整えている。 ・児童の居場所機能の向上などにより、利用者の増加に取り組んでいる。

3 今後における業務改善の方向性

- ・アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努め、児童の健全育成に向けた事業を推進すること。
- ・利用者目線を重視し、放課後児童や中高生が安心して過ごせる居場所づくりに引き続き取り組むこと。
- ・子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても事業の周知に取り組むこと。
- ・地域と連携して事業を進め、世代を超えて交流できる場としての役割に取り組むこと。
- ・美杉台児童館との連携をさらに深め、同一指定管理者の強みを生かした事業展開を図ること。
- ・費用対効果を意識し、より効率的な施設運営に努めること。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市高齢者福祉施設敬愛園	
施設所在地		飯能市大字芦荻場698番地3	
指定期間		令和 3 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		高齢者福祉の増進を図るため	
指定管理者	団体名	社会福祉法人名栗園	
	代表者	池田 徳幸	
	所在地	飯能市大字芦荻場805番地	
担当部課	部	健康福祉部	課 介護福祉課
	TEL	042-973-2111	内線 189
	E-mail	shien@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	職員体制について、入居者の生活に支障が生じないような勤務体制、定年後の再雇用にも取り組んでいる。緊急保護1名含む入所及び退所の業務を迅速かつ適切に対応された。施設内の保守点検や修繕について、利用者が安全に過ごせるような適切な対応をいただいている。
(2)利用者サービスに関する業務	A	今年度は園庭でバーベキューや「さんまの日」、紅葉見学など外出機会が増え、利用者のQOL推進を図ることができました。また、利用者の健康管理については職員同士の情報共有を図り、日々の体調変化を細かく考察している。
(3)収支状況	A	定年再雇用の職員確保に取り組み、人件費削減に努めている。給食費も食材費の高騰により、当初予算が大幅に増額した。光熱費は価格が高騰する中で職員全員が節約意識を持ち、経費削減に取り組んでいる。
総 合 評 価	A	今年度も感染対策をする中で、外出行事を増やし、高齢者福祉に繋がる施設運営に力を入れていただいた。また、緊急措置など複雑な事情で入所されている高齢者に対し、職員が適切にコミュニケーションをとることで良質な施設運営に努めていただいた。

3 今後における業務改善の方向性

高齢者福祉の増員を図るために、養護老人ホームの特性上、幅広い知識・経験を積んだ職員の対応が求められます。今後も人員配置基準を満たす勤務体制を維持していただきたい。高齢化が進行する中で、様々な事情を持つ高齢者の相談が増えることが予測されるため、緊急保護などの案件にも迅速に対応していただきたい。施設に経年劣化に対応するため、日常的なメンテナンスを継続し、施設の長寿命化に取り組む必要がある。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		美杉台児童館	
施設所在地		飯能市美杉台一丁目2番地の1	
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）	
施設の設置目的		児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的としている。	
指定管理者	団体名	社会福祉法人 飯能市社会福祉協議会	
	代表者	会長 新井 重治	
	所在地	飯能市大字双柳371番地13	
担当部課	部	こども支援部	課 こども政策課
	TEL	042-973-2111	内線 415
	E-mail	kodomo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	・業務仕様書に定められた資格を有する者の人員配置がされ、責任者を中心とした管理執行体制を整えている。 ・複合施設である特性を生かし、合同防災訓練の実施など他施設との連携、協力体制を推進することで、安全安心かつ効率的な施設運営に取り組んでいる。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	・利用者への丁寧な対応により、児童や保護者が安心して施設利用できる環境を整えている。 ・小中学校や放課後児童クラブと連携し、児童が安心して利用できる良好な施設環境を整えている。
(3) 収支状況	A	・節電や職員による修繕の実施を含む工夫により、効率的な管理運営に継続して取り組んでいる。
総 合 評 価	A	・情報発信の多様化や見せ方の工夫に取り組み、効果的な情報提供を進めている。 ・児童の居場所機能の充実を図り、少子化の中でも利用者を増やすための取り組みを進めている。

3 今後における業務改善の方向性

- ・アンケート等を通じて利用者ニーズの把握に努め、児童の健全育成に向けた事業を推進すること。
- ・子育て家庭への支援に向けた事業拡充を継続することでサービスと利用者満足度の向上に努めること。
- ・利用者目線を重視し、放課後児童や中高生が安心して過ごせる居場所づくりに引き続き取り組むこと。
- ・子育て家庭や中高生、他の地域の児童に対しても事業の周知に取り組むこと。
- ・地域と連携して事業を進め、児童が地域で継続的に活動できるような仕組みづくりに取り組むこと。
- ・児童センターとの連携をさらに深め、同一指定管理者の強みを生かした事業展開を図ること。
- ・費用対効果を意識し、より効率的な施設運営に努めること。

令和 8 年度（令和 7 年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		東吾野医療介護センター	
施設所在地		飯能市大字虎秀25番地の1	
指定期間		令和 5 年度 ～ 令和 7 年度 まで （ 3 年間 ）	
施設の設置目的		市民の健康保持に必要な医療及び介護サービスを提供するため。	
指定管理者	団体名	医療法人 靖和会	
	代表者	理事長 木川浩志	
	所在地	飯能市大字下加治137番地2	
担当部課	部	健康福祉部	課 医療管理課
	TEL	978-5026	内線 117
	E-mail	iryo@city.hanno.lg.jp	

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	・基礎的な業務については、全体的に適切な対応がされている。 ・職員配置については、施設基準は満たしているものの、一部の職種において不足しているが、業務分担等の見直し等を実施し、効率的な運営ができるよう取り組んでいる。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	・利用者数は前年度と比較すると、全体的に微減ではあったが、おおむね良好と言える。 ・自主事業の実施や地域との関わりについては、やや不十分であったが、新たな事業を企画するなどサービス向上へ向けた取組がされている。 ・人材確保が困難な中で、職員負担が増加したことにより、十分な時間をかけて利用者と接することが難しい状況があった。
(3) 収支状況	A	・利用料金収入は前年度と比較すると微減だった。 ・歳出については経費縮減に取り組んでいるものの、物価高騰による影響や、人材確保にかかる経費の増加など、指定管理者の努力だけでは対応できない要因がある。 ・職員の補充が予定どおりとならなかったことから、結果的に人件費が抑制される結果となった。
総 合 評 価	A	・センター長の交代に伴い利用者数への影響が心配されたが、全体的には微減程度に留まり、入院・入所の稼働率も高い水準をキープすることができた。 ・一部の業務における利用者サービスに課題があったが、業務見直し等に取り組む、全体的には良好な運営がされていた。

3 今後における業務改善の方向性

・外来、健診、通所リハについては増加の余地があると考え、地域との積極的な関りや新たな取組みの発信、PR等に努め、利用者増加に繋がる取組を継続していくこと。 ・入院及び老健入所については、高い稼働率を維持しており、安定した収入を確保できる分野であるため、引き続きこの状況を維持できるよう努めていくこと。 ・物価高騰に伴う管理的経費の増加や、人材確保に係る経費（雑費）の増加など、外的要因による経費の増加がみられるが、引き続き効率的な運営と経費縮減に努めること。 ・人材確保が困難な状況が続いているが、利用者へのサービス提供は、施設運営において基本となる部分であることから、業務分担や体制の見直しなどを行い、「質の高いサービス」が常に提供できるよう努めていくこと。 ・令和8年度から第5期目がスタートするが、発注者との「経営会議」を定期的に開催し、情報を共有するとともに、今後の経営方針や業務改善などについて話し合い、状況の変化に対応できるよう努めること。
--

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名		飯能市都市公園（阿須運動公園、美杉台公園及び岩沢運動公園）		
施設所在地		飯能市大字阿須地内、美杉台一丁目地内、大字岩沢地内		
指定期間		令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）		
施設の設置目的		都市公園は都市における緑とオープンスペースを形成し、良好な都市環境を提供して、中心市街地等のにぎわいの場、あるいは地域の自然的資源を観光振興として活用される。子供からお年寄りまでの幅広い年齢層が、自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動等多様な活動の拠点として、地域間の交流・連携の場として利用している。		
指定管理者	団体名	飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体		
	代表者	特定非営利活動法人飯能市スポーツ協会 会長 関口 正博		
	所在地	飯能市大字阿須812番地3		
担当部課	部	都市建設部	課	維持管理課
	TEL	042-973-2127（直通）	内線	241
	E-mail	jjikoen@city.hanno.lg.jp		

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1) 基礎的な業務	A	今年度は、維持、管理体制を開始して2年目の年であり、管理責任者の配置及び人員の体制等、概ね良好に業務を遂行できたと評価します。危機管理体制については修繕作業を実施し、迅速な対応で対応できていることから、管理責任能力が高いと評価します。
(2) 利用者サービスに関する業務	A	年度当初から樹木剪定、除草作業の植栽管理を積極的に実施し、公園美化に対する意識は高く評価できます。また、修繕及び清掃等への対応も早く、公園利用者に対するイメージアップ等に寄与できていると評価します。
(3) 収支状況	A	期待通りであり評価します。
総 合 評 価	A	年度当初より計画的に業務を遂行できており、植栽管理等の公園美化に対する意識について高く評価できます。また、迅速な対応で修繕作業を実施していることから、危機管理体制の能力が高いと評価できます。

3 今後における業務改善の方向性

民間事業者を強みに、公園利用者の増加につながるアイデアをもっているため、自主事業による自主財源のさらなる確保を実施してもらいたい。

令和8年度（令和7年度分） 指定管理者事業評価シート（総括表）

1 施設及び指定管理者の概要

施設名
施設所在地
指定期間
施設の設置目的
指定管理者
団体名
代表者
所在地
担当部課
部
課
TEL
内線
E-mail

飯能市都市公園運動施設
飯能市大字阿須812番地3 他
令和 6 年度 ～ 令和 10 年度 まで （ 5 年間 ）
市民の健康の保持・増進、体力の向上、生きがいづくり、人と人との交流や地域の連帯感、活力あるまちづくりに向けて、市民の誰もが、いつでもスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、生涯スポーツの振興を図ることを目的としている。
飯能市都市公園運動施設管理運営共同事業体 代表団体 特定非営利活動法人
会長 関口 正博
飯能市大字阿須812番地3
教育部
課
スポーツ課
042-972-6028(直通)
内線
741
taiiku@city.hanno.lg.jp

2 評価結果

評価の観点	評価	指摘事項等
(1)基礎的な業務	A	今年度は、都市公園運動施設の管理・運営業務を開始した初年度であり、業務仕様書に基づいた人員の配置等について適正に行われた。 また、施設及び設備の老朽化が進む状況においても、日常的な保守点検や修繕、清掃により施設等の維持に努めている。
(2)利用者サービスに関する業務	A	利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけるとともに、独自のホームページの活用により、利用者への情報提供を積極的に行っている。
(3)収支状況	A	収支ともに適正であると評価する。
総 合 評 価	A	都市公園運動施設の管理・運営については、利用者が安全で安心して利用できるよう、積極的な取組がされている。 今後も、利用者への親切・丁寧な窓口対応等を心がけ、利用者との良好な関係を築くことを期待する。

3 今後における業務改善の方向性

- ・今後も年間の修繕計画等を策定し、施設の保守点検や修繕等を計画的かつ着実に実施し、施設の安全な管理・運営を行うこと。
- ・常に利用者のニーズを的確に捉え、利用者目線に立った質の高いサービスの提供に努めること。
- ・引き続き、市と施設や利用者等の状況について情報共有を図りながら、業務を遂行すること。